



第 152 回津文化協会文化講演会

第 114 回文化講演会？「発見塾」三重大学シリーズ

演 題 「伊勢エビに何が起きているか ～海水温上昇がもたらす影響～」

講 師 松田 浩一 氏 三重大学大学院・生物資源学研究科 教授

伊勢えびは、三重県の「県のさかな」に指定され、三重県の優れた産品として「三重ブランド」にも認定される重要な水産資源です。三重県における伊勢えびの漁獲量は、他の多くの水産資源が減少しているのとは対照的に高い水準を保ち、長らく全国一位を誇っていました。しかしながら、近年になって漁獲量が大きく減少し、今後の生産も危惧される状況になっています。その要因として、紀伊半島沖を流れる黒潮の大蛇行等による海水温の上昇があります。伊勢エビは、千葉県以南の黒潮の影響を受ける海域を中心に分布し、本来は温暖な環境を好みます。その伊勢えびが水温上昇で減少しているのか、その要因について生態も交えて講演します。

日 時 令和 6 年 9 月 28 日 (土) 13:30～15:00

会 場 津リージョンプラザ 1F 中央保健センター待合ホール
津市西丸之内 23-1



主 催 津市民文化祭実行委員会

主 管 津文化協会

後 援 三重大学 三重ふるさと新聞社

連絡先 TEL 090-1236-1144 (辻本 当)

※津文化協会では会員を募集しています。

当協会事務局または？『発見塾』開催時、受付までお申込み下さい。

※場所の変更、中止の場合は下記のホームページでお知らせします。

？「発見塾」(三重大学) <https://www.mie-u.ac.jp/hakugaku/hakken>

津市民文化祭 <https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1001000011275/index.html>

※講演会会場は土足禁止になっています。履物の収納は会場入り口設置の下駄箱をご利用ください。